

## ◆人材確保対策

皆様いかがお過ごしでしょうか。ウクライナ情勢、猛暑や豪雨、安部前首相の訃報、コロナウイルスの拡大など社会不安の話題はつきません。

そうした中ですが、時間は平等に過ぎ、次に準備していくことに変わりはありません。理念を持ち、今の事業や仕事をより良くしていきたい、前に進んでいく気持ちはどこも同じだと思います。ただ前と変わったのは、雇用情勢の悪化といったところでしょうか。特に私たち介護・福祉業界の深刻な人手不足は年々加速しています。

連絡会事務局のふくしの家では、初めて特定技能外国人雇用を実施、4名の外国人が5月から介護現場で働いています。コロナ前に申込み、受入れまでかなりの時間がかかりましたが、受け入れて良かったと思っています。来年には4名を新たに雇用する予定にしています。

「新しく施設を増やしたいが見つからない」「介護事業を始めたが1年で閉鎖になった」など、人材難を理由とした前は聞かなかった声も聴かれます。仮に事業を始めても、雇用を維持・継続するにはこれまで以上の多大な労力やお金がかかるのは必須です。

また、段階の世代が75を迎える2025年はすでに目前であり、そのジュニア世代の2040年の高齢化のピークに備え、要介護者や軽度者を支える2024年の医療介護同時改正の社会保障審議会の議論も進んでいます。ケアプラン有料化、原則2割負担、軽度者の総合事業への移行、包括報酬の推進、事業の統合化等、すぐには変わるものではないと思いますが、将来変化のキーワードであることは間違いないでしょう。人口減、厳しい雇用情勢の中、そうした準備も求められます。介護保険が始まり23年、すでに制度的には折り返しを迎えています。民間参入で広がり過ぎたものが、必要数残っていくのは当たり前のプロセスかもしれませんが、この大きな社会変化をより多くの人と乗り越えたいものです。

## ◆佐賀県地域共生ステーション中部ブロック会議 ※中部ブロックの方はご出席ください。

9月16日、佐賀県地域共生ステーション連絡会中部ブロック会議が開催されます。オンライン開催の予定です。

【お問合せ】NPO法人江北なごむの里（ブロック代表 古川）☎095286-4386

Zoom ミーティングに参加する

<https://us06web.zoom.us/j/84756394081?pwd=NHAreitlUDdIdzBYbEhMVy9wNlJ2Zz09>

ミーティング ID: 847 5639 4081

パスコード: 200205

## ◆市町地域住民向け移動担い手養成予定（5回目）

※佐賀県地域共生ステーション地域住民支えあい推進事業

住民主体による移動サービス担い手養成研修（佐賀県地域生活パートナー養成講座）

日時：令和4年10月6日（木） 9:00～12:30 / 会場：未定

いま身近な地域で買物等に困っている人が増えています。その課題解決のために、有志による車を使ったボランティア活動が全国に広がりを見せています。安全安心を担保し、地域生活のための移動支援の担い手研修になります。

## ◆福祉有償運送講習会（移動サービス認定運転者講習）

※佐賀県地域共生ステーション地域住民支えあい推進事業

国交省認定福祉有償運送講習会を開催します。佐賀県地域共生ステーション連絡会の会員の受講費はかかりません。

介護スタッフの福祉車両の安全運転の担保にご活用ください。

日時：令和4年12月17日、18日（2日間） 1日目9:00～15:00／2日目9:00～16:00

場所：鍋島シエストビル1F（佐賀市鍋島三丁目3番20号）

お申込み：<https://fukushinoie-saga.com> ※所定の様式からお申込みください。

## ◆「風水害対策リーダー育成セミナー（基礎研修）」オンライン配信情報

以下、佐賀県社会福祉課からの情報。

### 【「福祉施設のいのちを守る」風水害対策リーダー育成セミナー】

- ・コース 基礎研修
- ・研修内容 第1部：水害・土砂災害から利用者のいのちを守るために 約43分  
第2部：さが「福祉施設のいのちを守る」避難タイムライン作成方法 約28分  
第3部：避難訓練の企画・実施方法 約20分
- ・配信サイトURL <http://www.sbk.or.jp/sagafhtl/>
- ・配信期間 令和4年8月30日（火）から令和5年3月31日（金）まで
- ・その他 上記第1部から第3部のすべての内容を受講した方で、希望される方を対象に基礎研修受講証を発行。  
希望される方は、専用サイト内に掲載しております「基礎研修受講証発行依頼書」をご提出ください。

## ◆全国の動き

### 第11回社会保障審議会介護保険部会

#### 介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会関係団体ヒアリング内容

#### 以下、宅老所・グループホーム全国ネットワークの意見

##### 【①文書の負担軽減】

指定申請・報酬請求等の届出に関する様式についてはおおよそ賛成。

##### 【大規模化】

当該団体はもともと地域に密着した小規模な事業所であり、「いい介護をしよう」と考え、あえて大規模施設から小規模できめ細かい介護をしたいとの思いから新たな事業を開始した会員が多く、それゆえに運営に関してもNPO法人や合同会社等の小規模な事業所が多い。

##### 【②ITの活用】

高価なICTを活用したソフトを導入したり、活用できない事業所もあるので、活用ができるようなシステムの構築をしていただきたい。

##### 【③記録の簡素化】

サービスによって記録の内容が異なるため、簡素化することで引継ぎがなされず事故につながるケースもあるため検討の余地があるのでは。

##### 【④運営指導】

自治地指導から運営指導になるとあるが、介護現場での虐待が増えているように感じる中で、運営に重きを置くようになるのではないかと危惧する。運営指導とは別にそのような機関が新たに設けられるのであればいいが、その辺りに関してはもう少し議論が必要では。

##### 【⑤その他】

現状、年金も減っている中、地域で暮らすお年寄りが増え、私たちのネットワークで支援を必要としている方も多く、家族の負担軽減も考えながら、いかに地域で暮らしていけるかを支援している。施設中心で考えていくのではなく、地域支援が破綻する前に検討することがあるのでは。処遇改善ではなく介護報酬そのものを見直す時期である。

## 第10回地域共生ホーム全国セミナーinとやま

日時：2022年10月23日(日) 10:00～15:30

場所：サンシップとやま（富山県富山市安住町5-21）

定員：会場参加150名、オンライン参加500名 ※会場参加は富山県の方のみ

基調講演：「我が事、丸ごと」地域共生社会へ ～誰もが役割と生きがいを～ 元厚生労働大臣 塩崎恭久

参加費：3,000円 ※当日資料含む

問合せ：実行委員会事務局／このゆびと一まれ内 メール：toyama.care.net@gmail.com

### ◆新聞記事抜粋

#### 「認知症は要介護3以上に」 地域ケアシステム連絡会 制度改革要望書を提出

全国地域包括ケアシステム連絡会は、2024年度介護報酬改定に向けた政策提言・要望書を厚生労働省に提出した。訴えたのは、認知症に関する制度改革。認知症がある場合は身体的機能だけで評価するのではなく、ケアの質と居場所づくりができるように、介護度を要介護3以上とするなど認知症を重視する方向への制度改革を提案。認知症のある人が多く含まれる要介護1・2を「軽度」とみなし介護予防・日常生活支援総合事業へ移行させることは、認知症の人に対するケアの質低下が懸念されるとして反対している。

また、定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、包括報酬であるにも関わらず、市町村が訪問介護と同じ出来高報酬の延長上で指導をしており、その良さが生かされていないと指摘。包括報酬の中で生活支援や自立支援を含めた対応も可能にすることや、在宅での限界点を高めるために限度額を引き上げるか撤廃して、デイサービスやショートステイなども利用できるようにすること、小規模多機能については、サービス料の不足をカバーする観点から登録人数を35人程度に見直すなどを要望している。

このほか、ICT・ロボット・センサーの活用による人員配置基準の緩和に向けた検討がされていることに対しては、利用者の急変や事故、看取りケアなどの場合に、人員削減により運営リスクが高まると指摘。「人材確保が厳しい状況だからこそ、人員配置基準の緩和ではなく、人材確保と定着に力を注ぐべき」と訴えている。（2022.8.26シルバー新報）

### ◆佐賀県の登録支援機関情報（1号特定技能外国人を受け入れ支援できる機関）

株式会社ホットライン（※）／東南亜細亜経済交流共同組合／塚本大助（塚本行政書士事務所）

国際市場開発共同組合／株式会社マツオヒューマンネットワーク

株式会社エームホーム／株式会社ヒューテック／特定非営利活動法人えがお

それぞれ支援・相談に対応できる言語が違いますので、直接お問合せください。※は連絡会会員利用実績有

### ◆悪徳人材紹介会社にご注意を

## 配信 佐賀県地域共生ステーション連絡会

ホームページ <http://sachikyouden.com>

住所 〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シェストハーモニービル3F）

NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内（担当：江口）

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：fukusinoie@world.ocn.ne.jp ホームページ：<https://fukushinoie-saga.com>

※行政、関係機関にも配信しています。